

公立小学校の外国語活動に関する現状調査

《教育委員会 対象》

調査結果報告

平成 23 年 3 月
財団法人 日本英語検定協会
英語教育研究センター

■ 調査実施概要

■ 質問項目

- 問 1. 必修化レベル以上の外国語活動を導入している小学校について
- 問 2. 外国語活動に関する教員研修について
- 問 3-1. 今年度の教員研修内容について
- 問 3-2. 今年度の教員研修の教材について
- 問 3-3. 今年度の教員研修の指導者について
- 問 3-4. 教員研修を企画・運営する際の課題について
- 問 4-1. 管轄下の小学校での児童への評価について
- 問 4-2. 評価を行う理由について
- 問 4-3. 評価方法について
- 問 4-4. 評価を行わない理由について
- 問 5. 年間 35 時間の外国語活動を実施するための環境面について
- 問 6. 外国語活動における問題や課題について
- 問 7. 年間 35 時間の外国語活動導入について
- 問 8. 外国語活動の必修化に向け、管轄下の中学校に対して行っていることについて(記述)
- 問 9. 外国語活動に関して、力を入れている(入れたい)ことについて(記述)
- 問 10. 小学校への外国語活動の導入による影響と効果について(記述)

調査実施概要

1. 調査テーマ

各教育委員会管轄下の公立小学校における外国語活動に関する現状調査

2. 調査対象

全国の教育委員会(都道府県市町村及び東京特別区)

3. 調査目的

平成 23 年度より、小学校高学年に外国語活動が導入されるが、管轄下の小学校の導入受入の状況、小学校及び中学校に対する指導内容、外国語活動導入の影響など、現状を明らかにする。

4. 調査期間

平成 22 年 9 月から平成 22 年 10 月

5. 調査方法

送付、回収ともに郵送によるアンケート方式

6. 送付数・回収結果

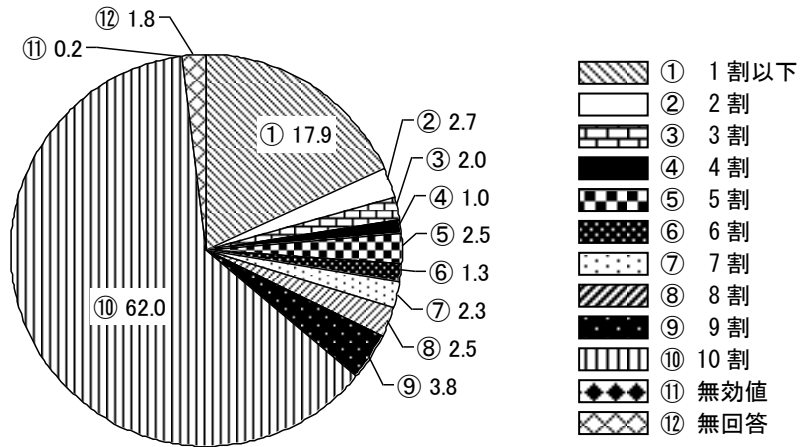
| 調査対象 | 送付数 | 回収数 | 回収率 |
|--------------|---------|-------|-------|
| 都道府県市町村教育委員会 | 1,749 件 | 602 件 | 34.4% |

問 1 貴教育委員会管轄下の小学校で、今年度、必修化レベル(高学年で年間 35 時間)以上の外国語活動を導入している小学校は全体のおよそ何割程度ですか。あてはまるもの 1 つを選んでください。

管轄下の小学校で、必修化レベル以上の外国語活動を導入している小学校が、全体の何割程度かを 1 割以下から 10 割までの 10 段階で聞いた結果は、「10 割」がもっとも多く 62.0%、次に多かったのが「1 割以下」で 18.0%であった。

導入率が 7 割以上の小学校は全体の 7 割強、また 3 割以下の小学校は 22.6%であった。

問 1 貴教育委員会管轄下の小学校で、今年度、必修化レベル（高学年で年間 35 時間）以上の外国語活動を導入している小学校は全体のおよそ何割程度ですか

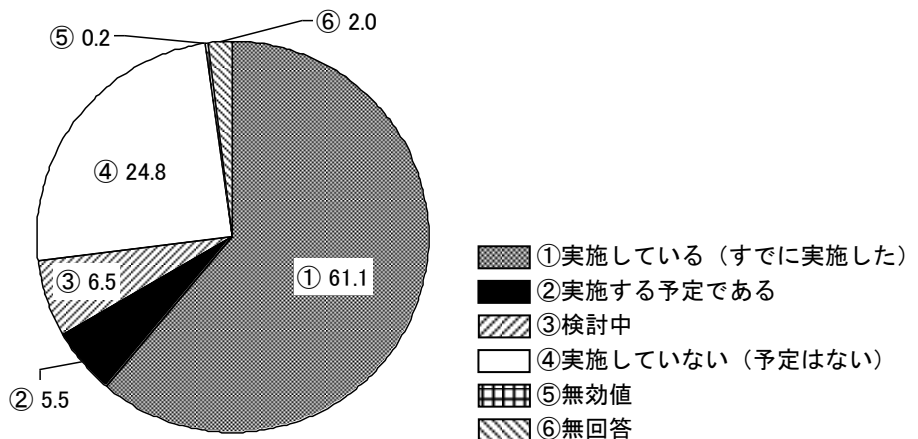


問 2 今年度、外国語活動に関する教員研修は実施していますか。あてはまるもの 1 つを選んでください。

小学校の外国語活動に関する教員研修については、「実施している」が 61.1%、「実施していない」が 24.8%であった。

「実施する予定である」(5.5%)、「検討中」(6.5%)を加えると、7 割強の小学校が実施、または実施に向けて動いていることがわかる。

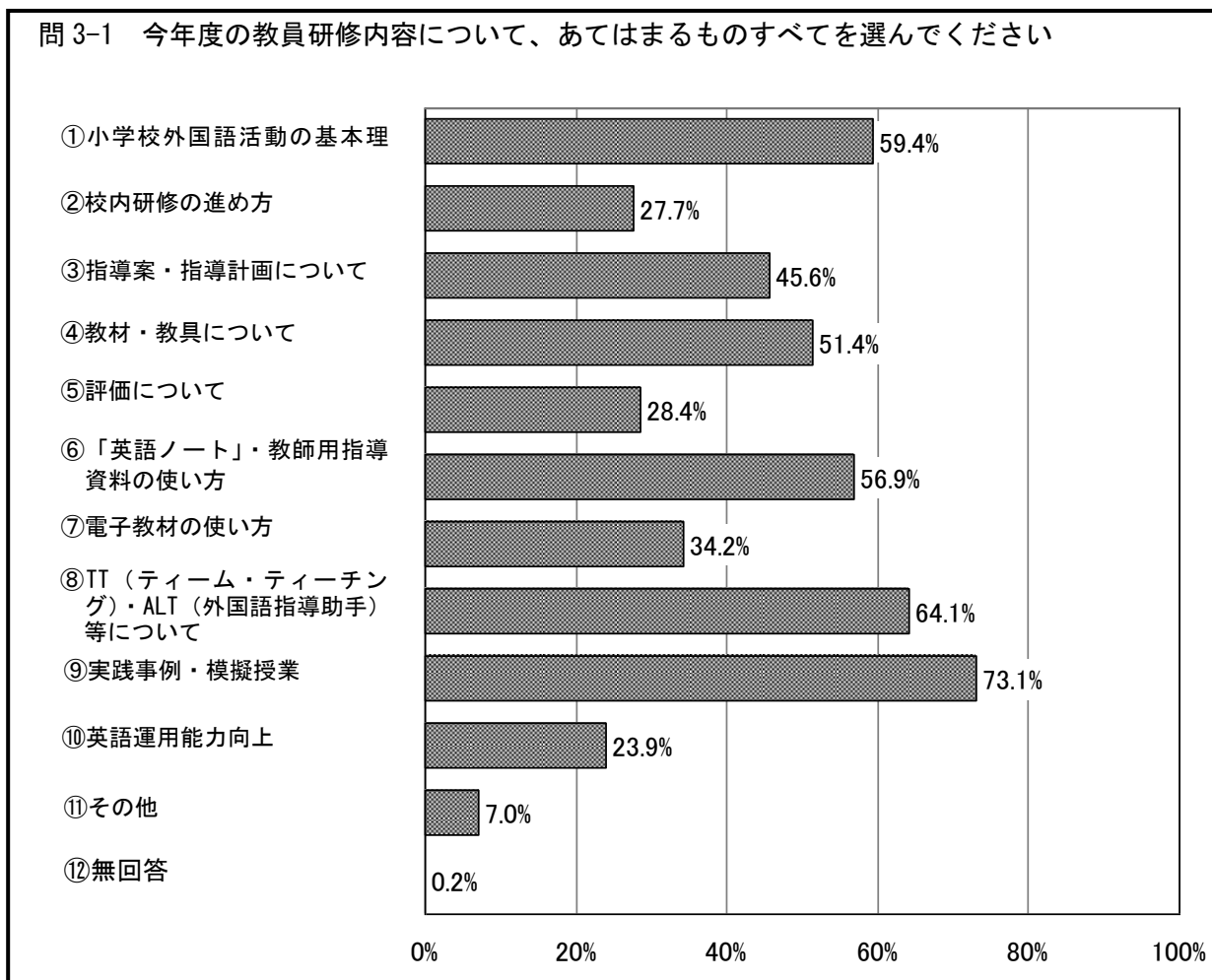
問 2 今年度、外国語活動に関する教員研修は実施していますか



問 3-1 今年度の教員研修内容について、あてはまるものすべてを選んでください。

教員研修内容でもっとも多かったのは「実践事例・模擬授業」が 73.1%、以下「TT(ティーム・ティーチング)・ALT(外国語指導助手)等について」(64.1%)、「小学校外国語活動の基本理念」(59.4%)、「『英語ノート』・教師用指導資料の使い方」(56.9%)、「教材・教具について」(51.4%)、「指導案・指導計画について」(45.6%)と続いている。

複数回答可であり、1 教育委員会あたりの回答数は、約 3 項目であった。

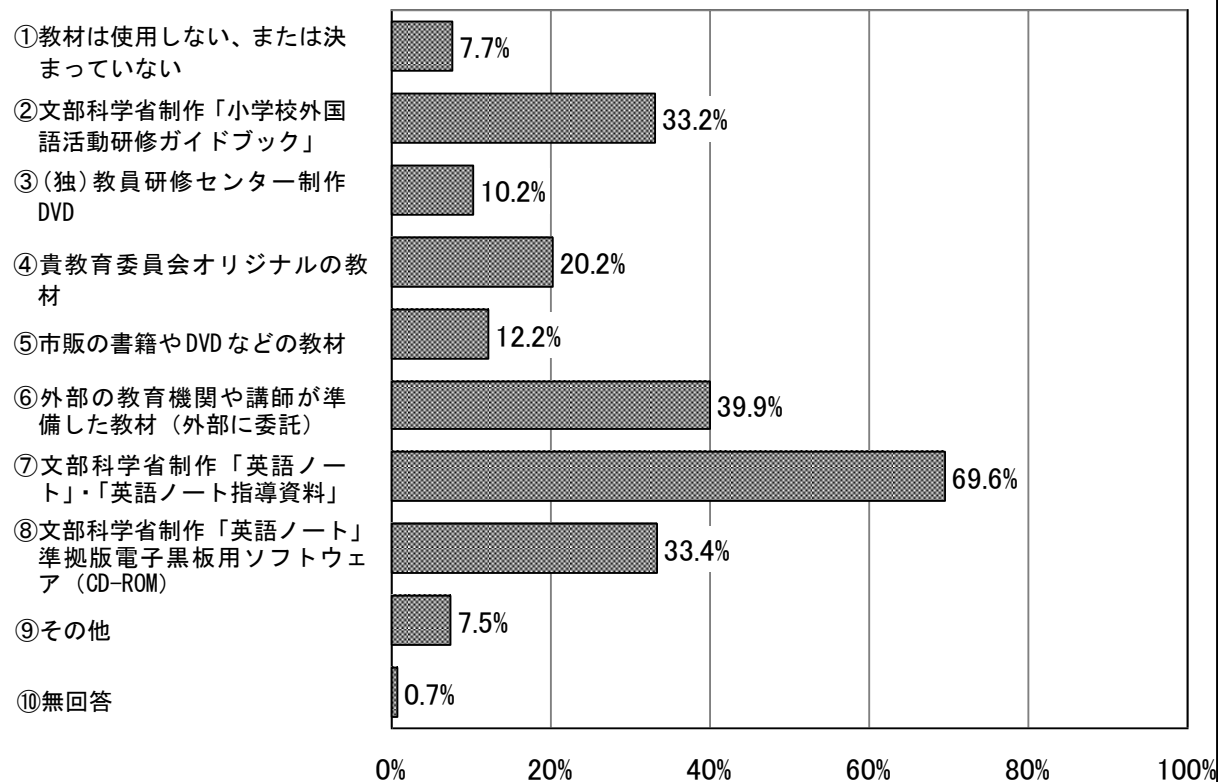


問 3-2 今年度の教員研修の教材について、あてはまるものすべてを選んでください。

研修の教材でもっとも多かったのは、「文部科学省制作『英語ノート』・『英語ノート指導資料』」で 69.6%、以下「外部の教育機関や講師が準備した教材(外部に委託)」(39.9%)、「文部科学省制作『英語ノート』準拠版電子黒板用ソフトウェア(CD-ROM)」(33.4%)、「文部科学省制作『小学校外国語活動研修ガイドブック』」(33.2%)と続いている。

複数回答可であり、1 教育委員会あたりの回答数は、1~2 項目であった。

問 3-2 今年度の教員研修の教材について、あてはまるものすべてを選んでください

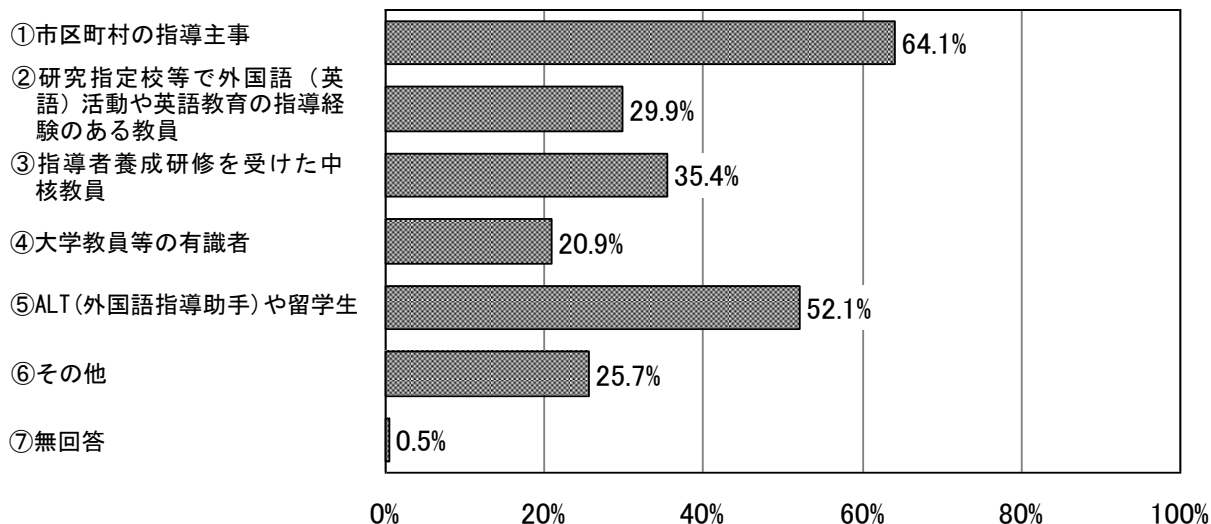


問 3-3 今年度の教員研修の指導者について、関わっている人すべてを選んでください。

教員研修の指導者でもっとも多いのは、「市区町村の指導主事」で 64.1%、以下「ALT(外国語指導助手)や留学生」(52.1%)、「指導者養成研修を受けた中核教員」(35.4%)、「研究指定校等で外国語(英語)活動や英語教育の指導経験のある教員」(29.9%)と続いている。

複数回答可であり、1 教育委員会あたりの回答数は、1~2 項目であった。

問 3-3 今年度の教員研修の指導者について、関わっている人すべてを選んでください



問 3-4 教員研修を企画・運営する際の課題は何ですか。あてはまるものすべてを選び、優先度が高い順から1,2,3…というように< >に番号を書いてください。

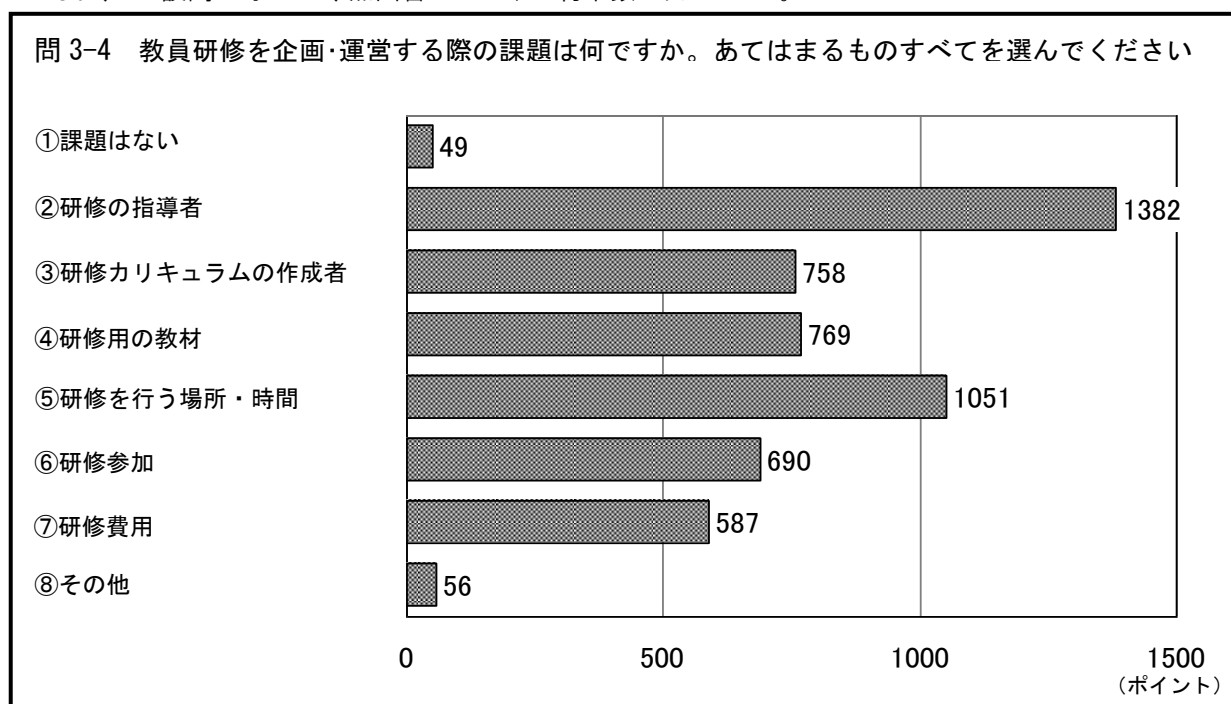
この質問では、優先度の最も高いものを7ポイント、以下6, 5, 4, 3, 2, 1, 0ポイントとして計算したものを合算して総ポイントとした。

この結果、研修を企画・運営する際の課題については、「研修の指導者」(1382ポイント)、「研修を行う場所・時間」(1051ポイント)が多く、以下「研修用の教材」(769ポイント)、「研修カリキュラムの作成者」(758ポイント)、「研修参加者」(690ポイント)と続いている。

上位の2項目は、研修の企画・運営に関わる基本的な部分での課題である点が注目される。

その他の項目は、まんべんなく選択されており、小学校の英語活動にはさまざまな問題点があることがうかがえる。

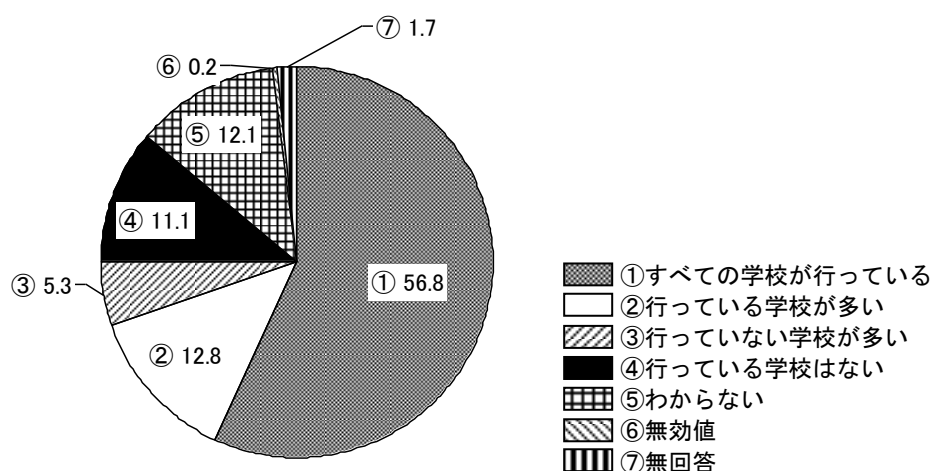
なお、この設問に対しては、無回答が48.3%と約半数に及んでいた。



問 4-1 今年度、管轄下の小学校では児童への評価を行っていますか。あてはまるもの1つを選んでください。

児童への評価は、「すべての学校が行っている」が56.8%でもっとも多く、次いで「行っている学校が多い」(12.8%)となっており、「行っている学校はない」(11.1%)、「行っていない学校が多い」(5.3%)を大きく上回っている。

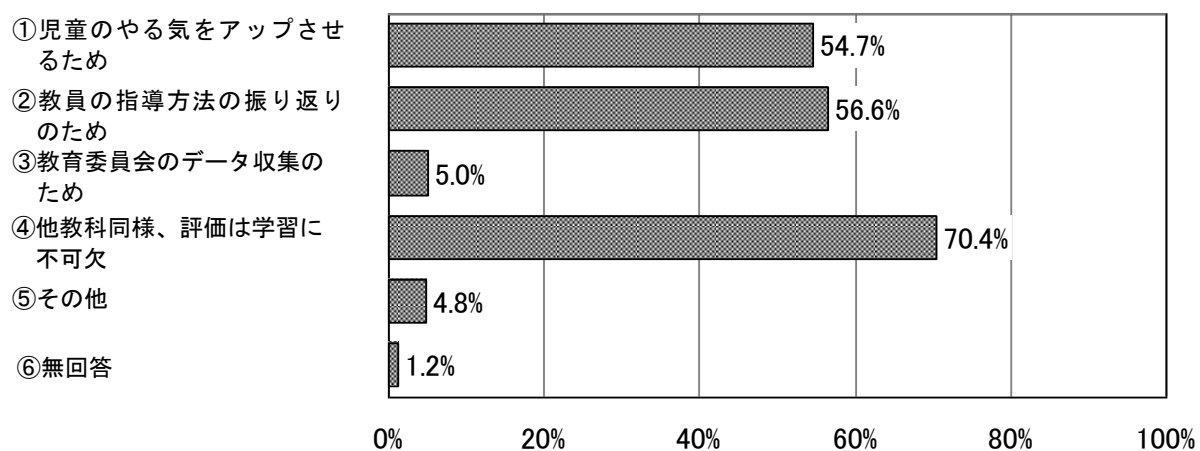
問 4-1 今年度、管轄下の小学校では児童への評価を行っていますか



問 4-2 問 4-1 で 1 か 2 を選んだ方は、その理由についてあてはまるものすべてを選んでください。

評価を行っている理由のうちもっとも多いのは、「他教科同様、評価は学習に不可欠」(70.4%)となっている。以下「教員の指導方法の振り返りのため」(56.6%)、「児童のやる気をアップさせるため」(54.7%)と続いている。

問 4-2 問 4-1 で 1 か 2 を選んだ方は、その理由についてあてはまるものすべてを選んでください



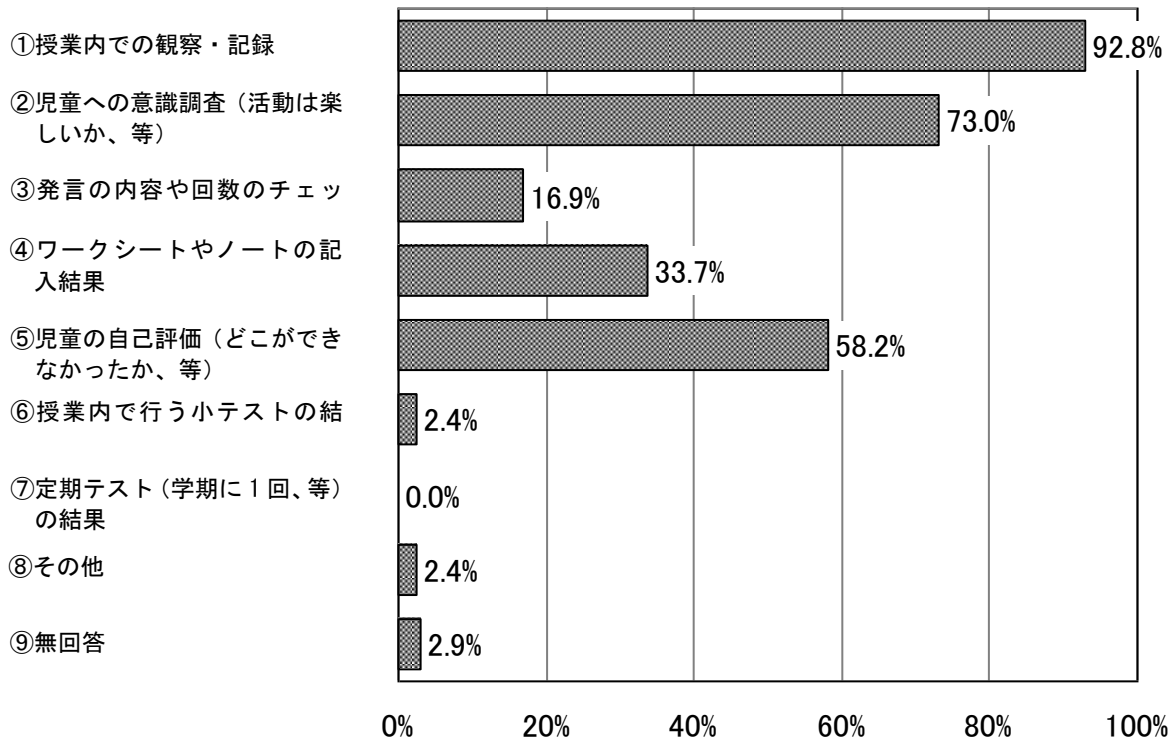
問 4-3 問 4-1 で 1 か 2 を選んだ方は、どんな評価が好ましいと思いますか。あてはまるものすべてを選んでください。

どんな評価が好ましいかについては、「授業内での観察・記録」がもっとも多く 92.8%、以下「児童への意識調査(活動は楽しいか、等)」(73.0%)、「児童の自己評価(どこができなかったか、等)」(58.2%)と続いている。

上位の項目からみると、具体的なテストなどの評価ではなく、児童の活動の意識をみたいという傾向が強いといえそう。

複数回答可であり、1 教育委員会あたりの回答数は、約 2 項目であった。

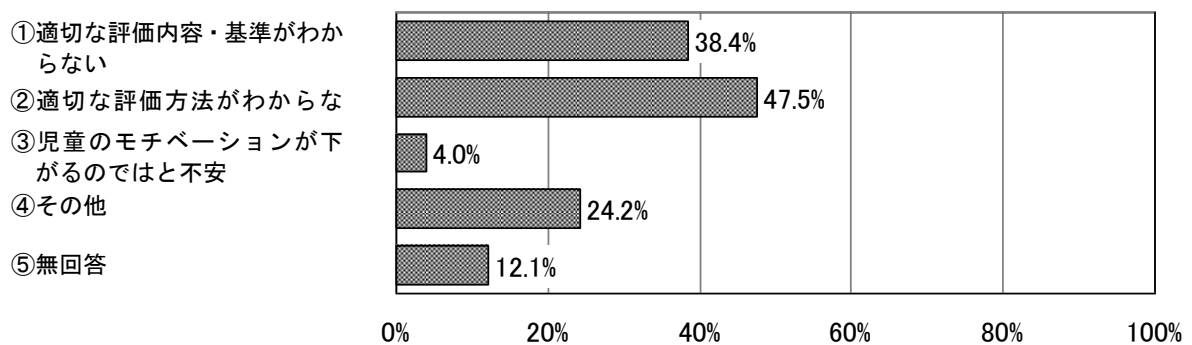
問 4-3 問 4-1 で 1 か 2 を選んだ方は、どんな評価が好ましいと思いますか。あてはまるものすべてを選んでください



問 4-4 問 4-1 で 3 か 4 を選んだ方は、その理由についてあてはまるものすべてを選んでください。

児童への評価を行っていない学校の理由は、「適切な評価方法がわからない」としたものが 47.5%、「適切な評価内容・基準がわからない」としたものが 38.4%だった。記述回答例では、評価は不要とするものもあった。

問 4-4 問 4-1 で 3 か 4 を選んだ方は、その理由についてあてはまるものすべてを選んでください



問 5 管轄下の小学校全体で考えた場合、年間 35 時間の外国語活動を実施するにあたり、以下の面で環境は整っていると思いますか。それぞれについてあてはまる番号(1 から 5 の中で)1 つを選んでください。

- | | |
|---------------------------|--------------------------------|
| 1. 外国語活動担当教員の配置 | 13. 校内研究会・研修会の実施体制 |
| 2. 過去に外国語活動を指導した経験のある教員 | 14. 5・6 年生と 1～4 年生の担当教員の情報交換体制 |
| 3. 年間指導計画を作成できる教員 | 15. 同一中学に進学する近隣小学校との情報交換の体制 |
| 4. 校内研修を企画・運営できる教員 | 16. 進学先中学校との情報交換の体制 |
| 5. ALT の小学校訪問頻度 | 17. 学校外での研修会・勉強会などの情報 |
| 6. 外国語活動実施に対する教員の積極性 | 18. 学校外での研修会・勉強会参加の仕組みやサポート体制 |
| 7. 英語の文法・表現・発音等について相談できる人 | 19. 教師が使用する教具を購入する費用 |
| 8. 外国語活動の指導法について相談できる人 | 20. 教師が研修に参加する費用 |
| 9. 年間指導計画・指導案 | 21. ALT などの指導者に関する費用 |
| 10. 児童が外国語活動で使用する教材 | |
| 11. 教師が外国語活動で使用する教具 | |
| 12. 外国語活動を行うための教室 | |

管轄下の小学校の外国語活動実施に際しての環境の整備状況については以下のようにまとめられる。

- ①「十分に整っている」「ある程度整っている」の合計が 80%をこえるもの
「ALT の小学校訪問頻度」(85.7%)
- ②「十分に整っている」「ある程度整っている」の合計が 70%をこえるもの
「ALT などの指導者に関する費用」(79.9%)
- ③「十分に整っている」「ある程度整っている」の合計が 60%をこえるもの
「年間指導計画・指導案」(69.9%)
「外国語活動実施に対する教員の積極性」(68.6%)
「児童が外国語活動で使用する教材」(64.0%)
「教師が外国語活動で使用する教具」(61.3%)
- ④「十分に整っている」「ある程度整っている」の合計が 50%をこえるもの
「年間指導計画を作成できる教員」(56.6%)
「外国語教育を行うための教室」(56.5%)
「校内研修を企画・運営できる教員」(55.8%)
「同一中学に進学する近隣小学校との情報交換の体制」(55.5%)
「校内研究会・研修会の実施体制」(55.0%)
「進学先中学校との情報交換の体制」(54.2%)
- ⑤「十分に整っている」「ある程度整っている」の合計と「まったく整っていない」「あまり整っていない」の合計がどちらも 40%台で、ほぼ拮抗しているもの
「学校外での研修会・勉強会などの情報」…整っている(49.2%)>整っていない(44.0%)
「5・6 年生と 1～4 年生の担当教員の情報交換体制」…整っている(47.4%)>整っていない(46.4%)
「外国語活動担当教員の配置」…整っている(47.3%)>整っていない(40.0%)
「外国語活動の指導法について相談できる人」…整っている(46.7%)<整っていない(47.7%)
「過去に外国語活動を指導した経験のある教員」…整っている(43.4%)<整っていない(48.5%)
- ⑥「まったく整っていない」「あまり整っていない」の合計が 50%をこえるもの

「学校外での研修会・勉強会参加の仕組やサポート体制」(54.7%)

「教師が研修に参加する費用」(51.7%)

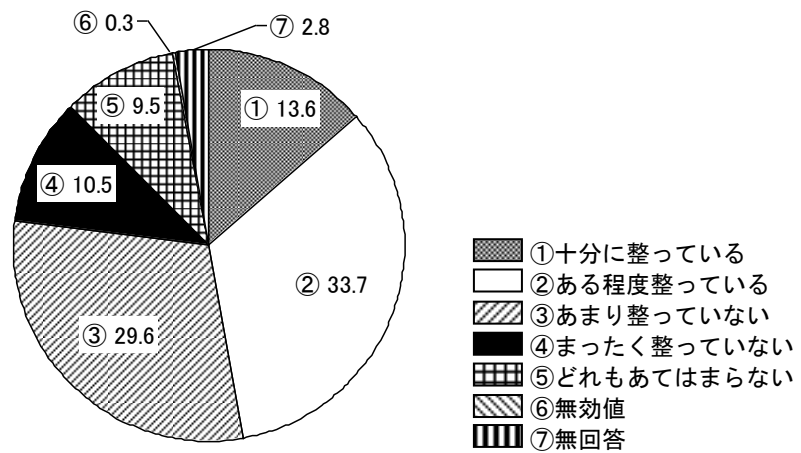
「英語の文法・表現・発音等について相談できる人」(50.8%)

「教師が使用する教具を購入する費用」(50.3%)

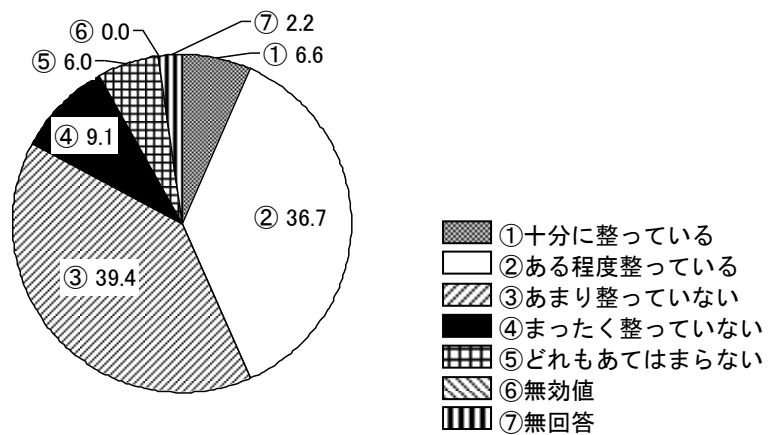
以上を概観すると、管轄下の小学校の外国語活動実施に際しての環境の整備状況については、かなり整っている状態といえそうである。とくに、ALTに関しては、整備状況は8割またそれ以上である。

逆に整備状況が比較的悪いのが、指導者や、相談できる人材の不足、また教員が活動をするにあたっての費用面での問題といったところといえそうだ。

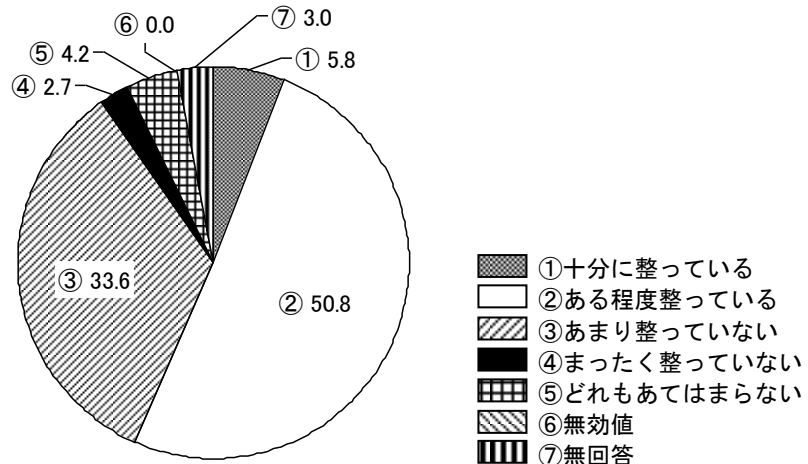
問 5-1 外国語活動担当教員の配置



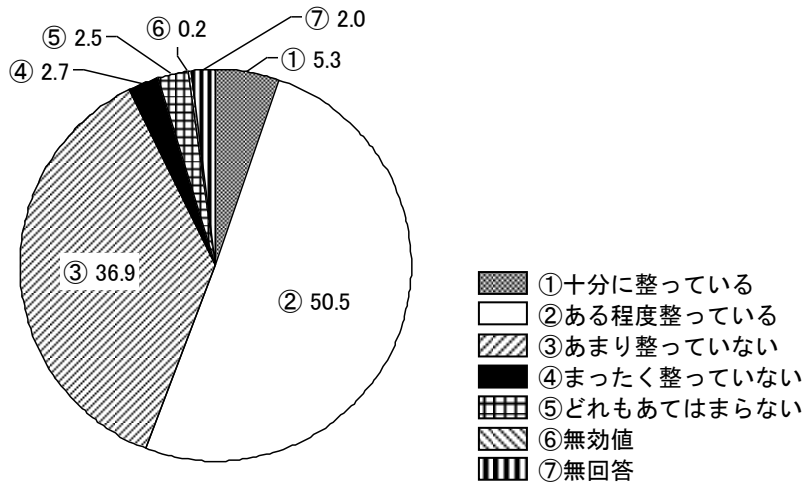
問 5-2 過去に外国語活動を指導した経験のある教員



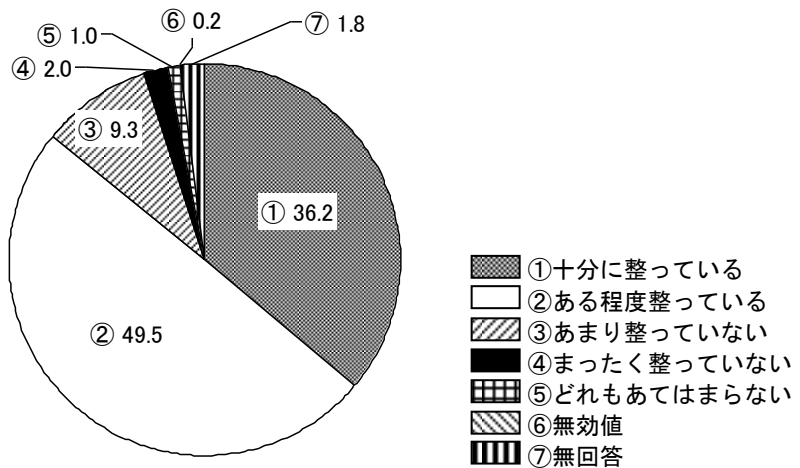
問 5-3 年間指導計画を作成できる教員



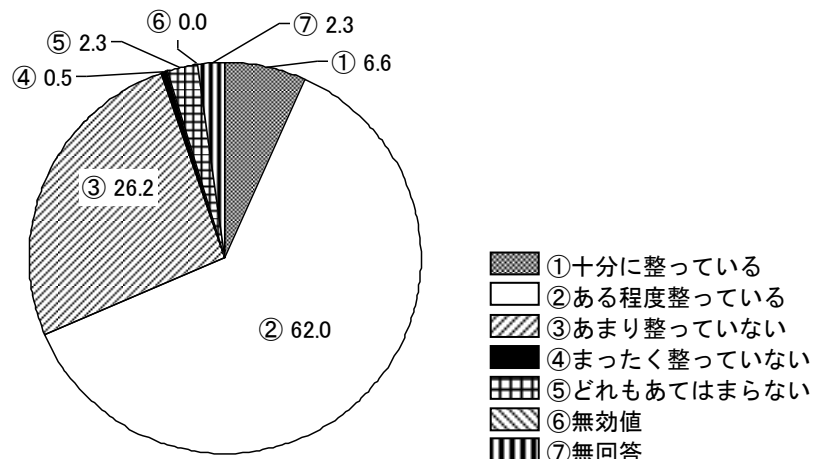
問 5-4 校内研修を企画・運営できる教員



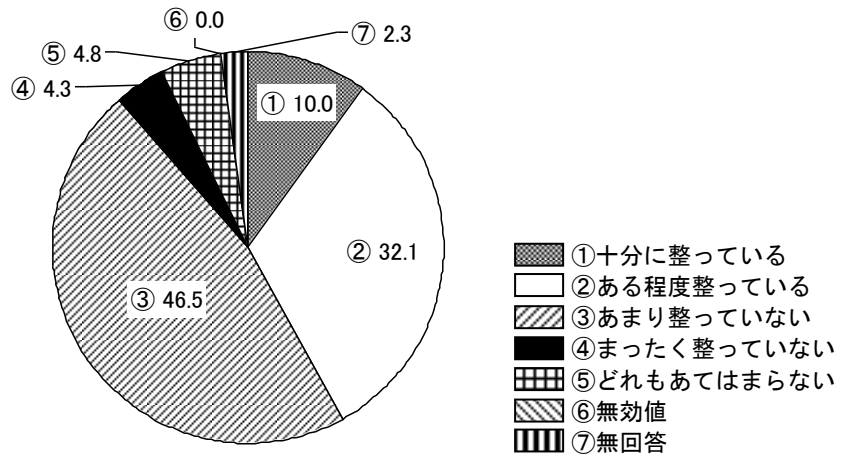
問 5-5 ALT の小学校訪問頻度



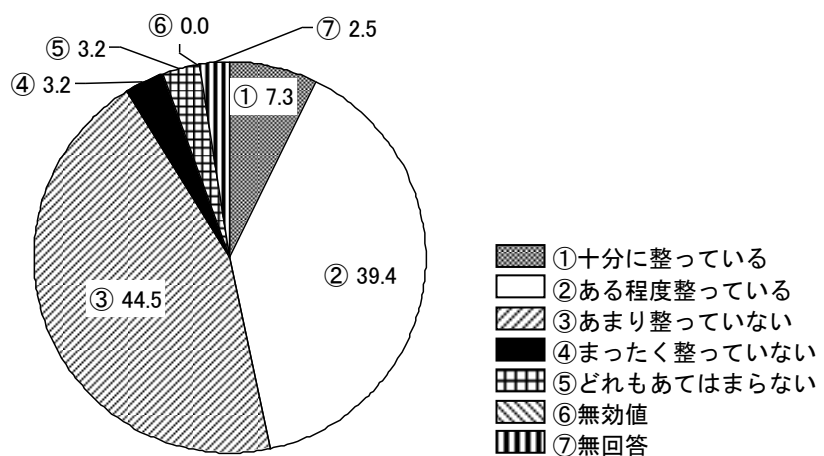
問 5-6 外国語活動実施に対する教員の積極性



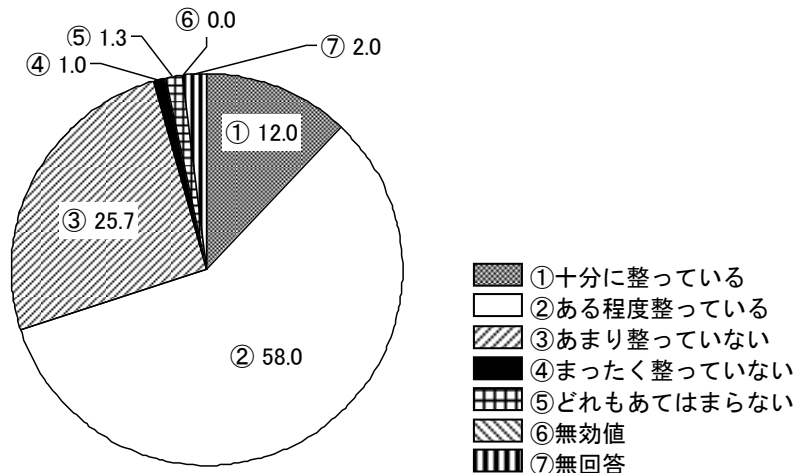
問 5-7 英語の文法・表現・発音等について相談できる人



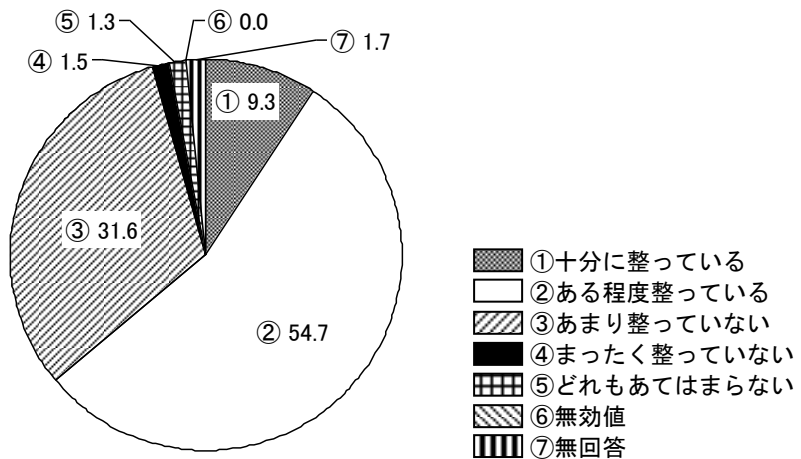
問 5-8 外国語活動の指導法について相談できる人



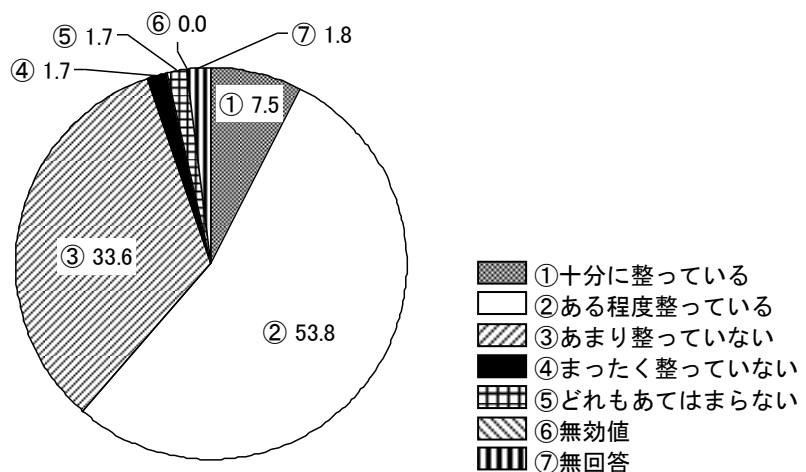
問 5-9 年間指導計画・指導案



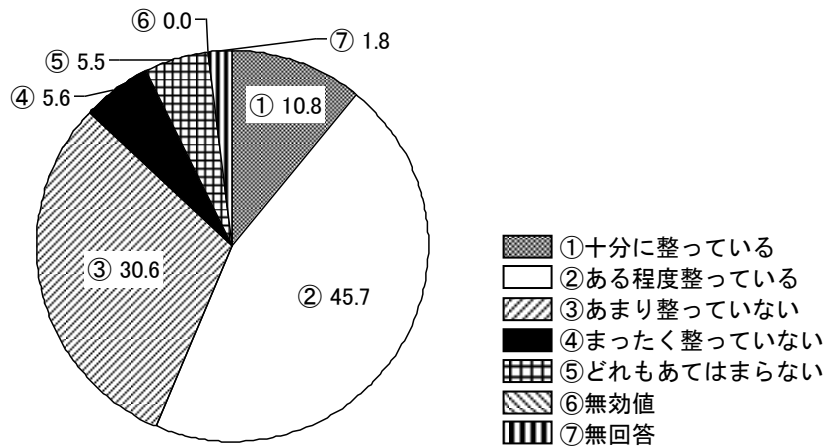
問 5-10 児童が外国語活動で使用する教材



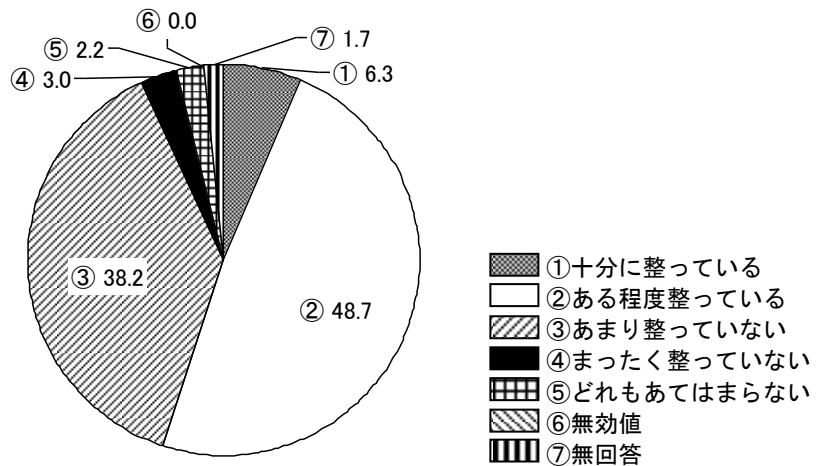
問 5-11 教師が外国語活動で使用する教具



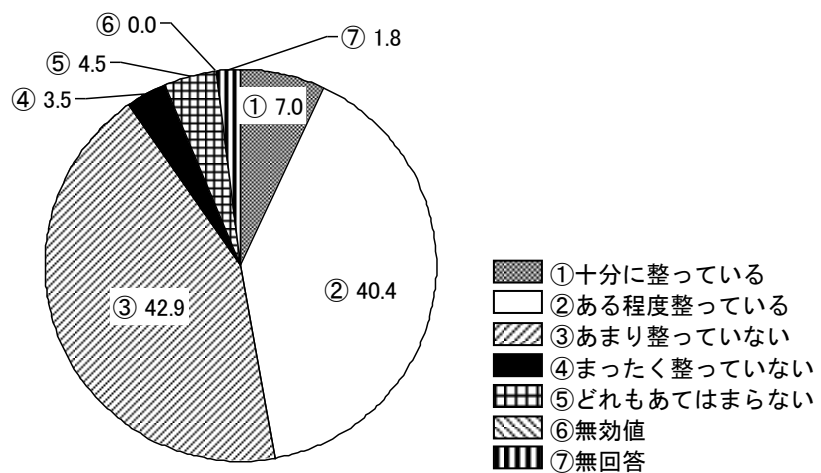
問 5-12 外国語活動を行うための教室



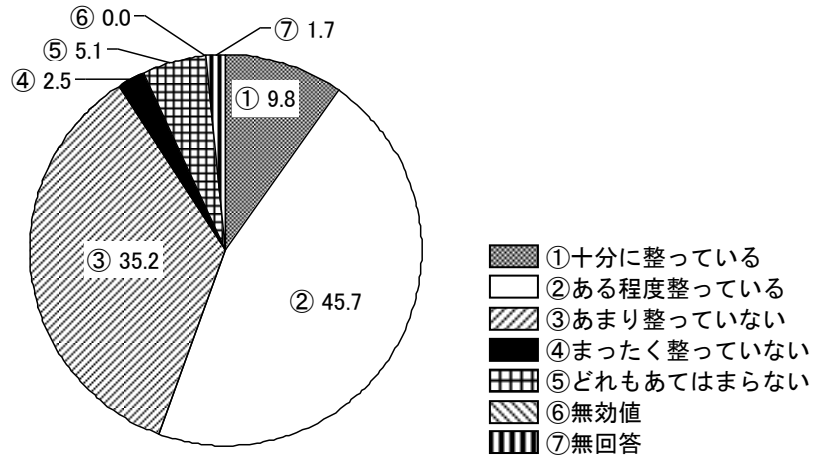
問 5-13 校内研究会・研修会の実施体制



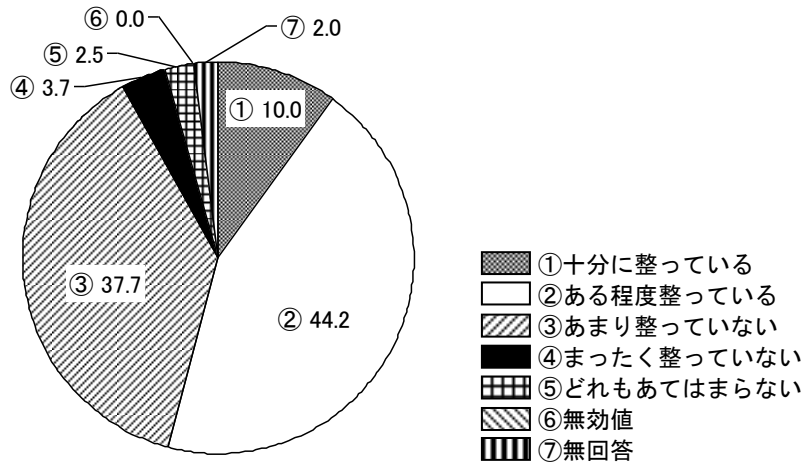
問 5-14 5・6年生と1～4年生の担当教員の情報交換の体制



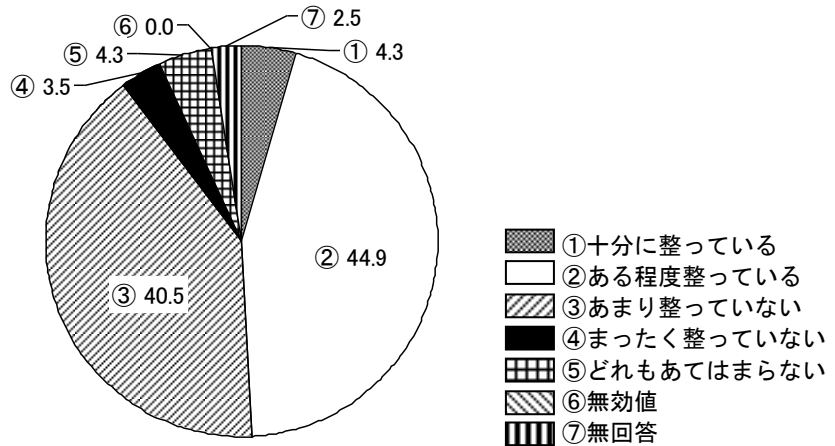
問 5-15 同一中学に進学する近隣小学校との情報交換の体制



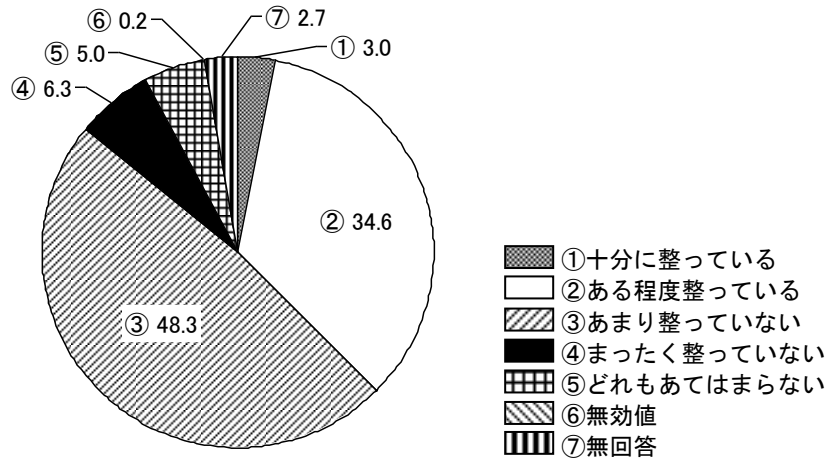
問 5-16 進学先中学校との情報交換の体制



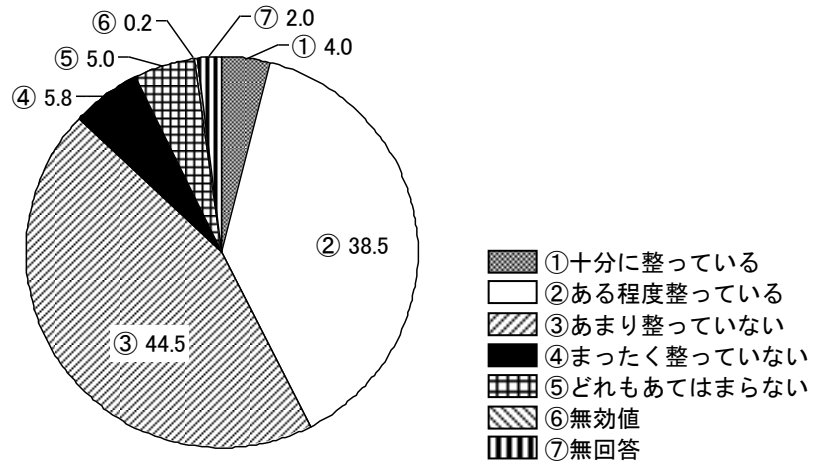
問 5-17 学校外での研修会・勉強会などの情報



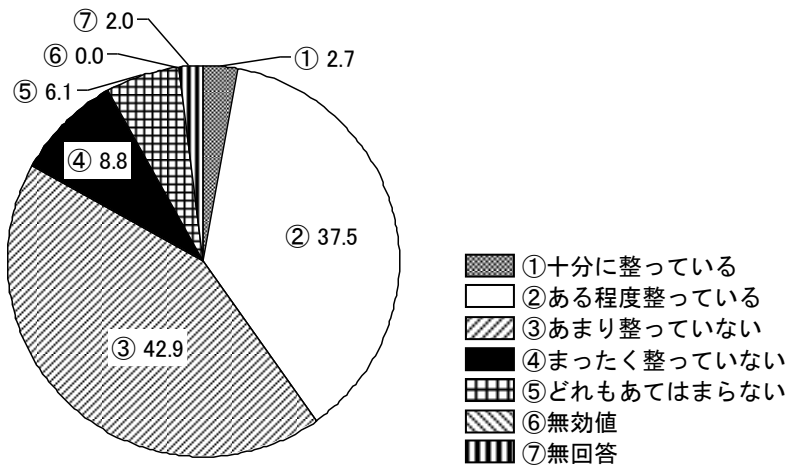
問 5-18 学校外での研修会・勉強会参加の仕組やサポート体制



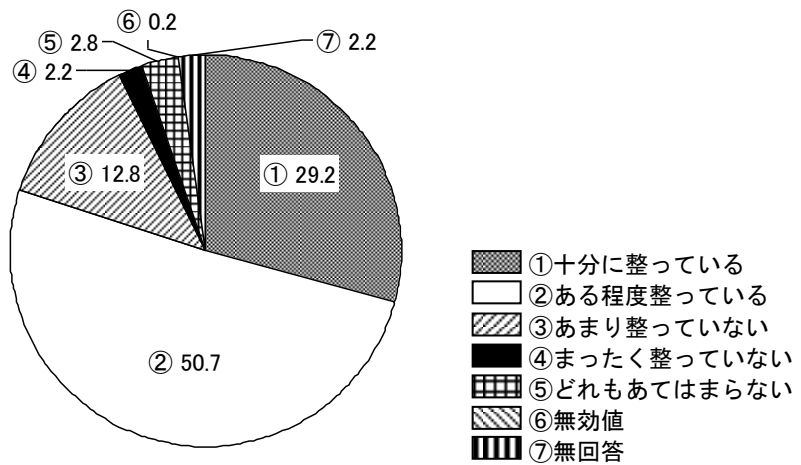
問 5-19 教師が使用する教具を購入する費用



問 5-20 教師が研修に参加する費用



問 5-21 ALT などの指導者に関する費用



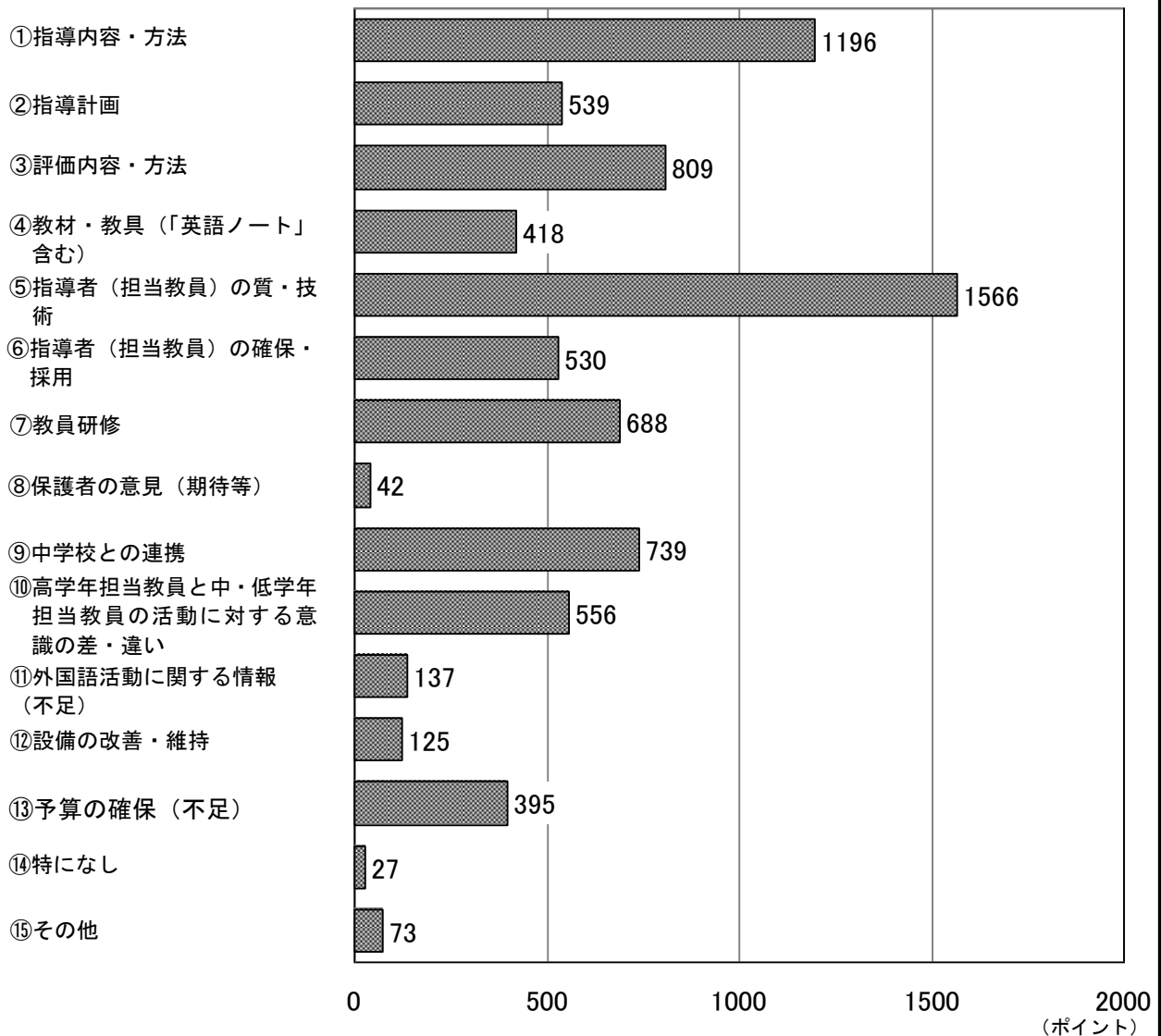
問 6 現在、外国語活動において管轄下の小学校で問題や課題であると感じていることはありますか。下記の中であてはまるものがある場合には5つまで選び、優先度が高い順から1,2,3…というようにくくりに番号を書いてください。

この質問では、優先度の最も高いものを5ポイント、以下4, 3, 2, 1ポイントとして計算したものを合算して総ポイントとした。

管轄下の小学校の外国語活動における問題や課題については、「指導者(担当教員)の質・技術」(1556ポイント)がもっとも多く、以下「指導内容・方法」(1196ポイント)、「評価内容・方法」(809ポイント)、「中学校との連携」(739ポイント)、「教員研修」(688ポイント)、「高学年担当教員と中・低学年担当教員の活動に対する意識の差・違い」(556ポイント)が続く。

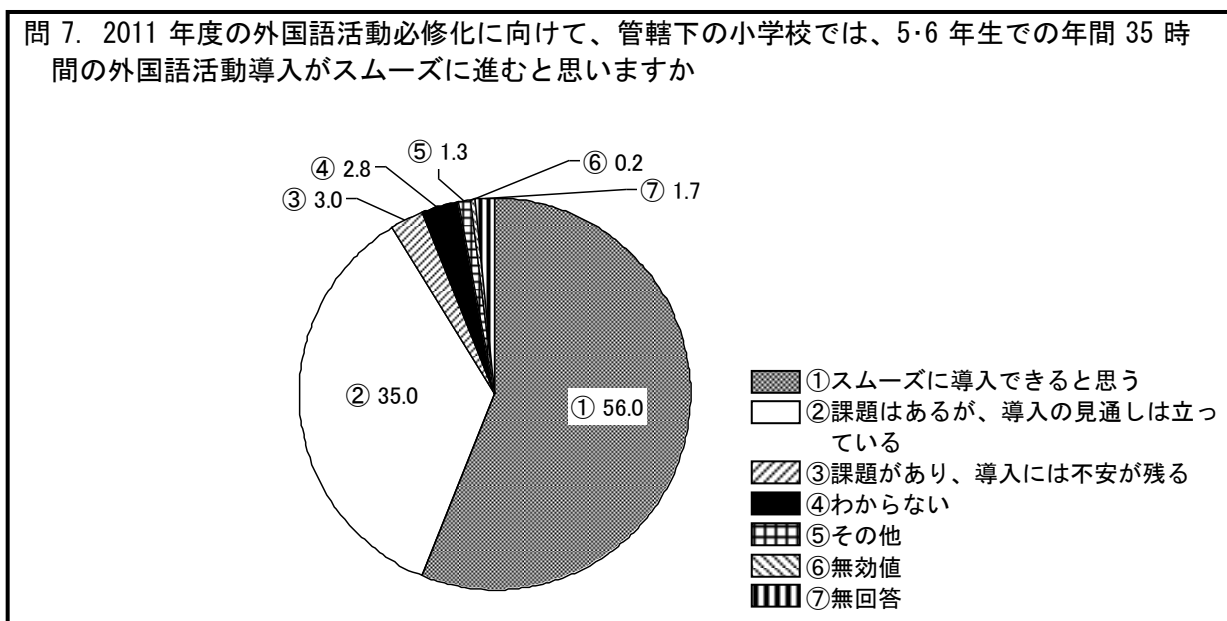
教員や指導法などの「質」が課題として浮かびあがってきているようだ。

問 6 現在、外国語活動において、貴校で問題や課題であると感じていることはありますか。あてはまるものがある場合には5つまで選んでください



問 7 2011 年度の外国語活動必修化に向けて、管轄下の小学校では、5・6 年生での年間 35 時間の外国語活動導入がスムーズに進むと思いますか。想定されるもの 1 つを選んでください。

2011 年度の外国語活動必修化に向けて、管轄下の小学校で導入がスムーズに進むかどうかについての質問に対する回答は、「スムーズに導入できると思う」(56.0%)、「課題はあるが、導入の見通しは立っている」(35.0%)と、9 割強が導入に自信をもっていることがうかがえる。



問 8. 外国語活動の必修化に向け、管轄下の中学校に対して行っていることがあれば具体的に教えてください。

1. 小学校英語活動の周知(資料配布、DVD 視聴など) 36 件
2. 教員の研修・情報交換(授業参観、授業公開など含む) 224 件
3. 小学校外国語活動の指導計画・指導方法への参画(中学へのフィードバックを含む) 17 件
4. 中学校教員の小学校での授業実施(交換授業、協働授業など含む) 35 件
5. ALT の活用 23 件
6. その他 25 件

問 9. 外国語活動に関して、貴教育委員会が現在もっとも力を入れている(入れたい)ことがあれば教えてください。

1. 小中連携の支援(教職員の情報交換など) 53 件
2. 教員研修の実施・充実(校内研修の充実、教員の英語学習の支援) 64 件
3. ALT の派遣・連携(予算を含めた ALT の確保など) 109 件
4. 教員の意識改革・指導力向上(教員の語学力、スキルの向上など) 71 件
5. 教材・教具の開発・活用(英語ノート、電子黒板の活用など) 17 件
6. 年間指導計画・カリキュラムの充実(小中連携のカリキュラム作成など) 29 件
7. 小学校間格差をなくす(学校間の交流による意識差の穴埋めなど) 46 件
8. 研修の改善 23 件

| | |
|--------------------------------|------|
| 9. 人材の確保と活用(補助員、地域の人材など) | 52 件 |
| 10. その他 | 41 件 |

問 10. 小学校への外国語活動の導入によって、全体的にどのような影響がある(あった)と思いますか。またはどのような効果を期待していますか。

☆ 外国語活動の導入について肯定的な意見 ☆《366 件》

| | |
|--|-------|
| 1. 外国語・異文化への理解の深化(必ずしもコミュニケーション能力を問わない。慣れ親しみ) | 96 件 |
| 2. コミュニケーション能力の向上(必ずしも外国語・異文化への理解を問わない。表現力向上、積極性を含む) | 161 件 |
| 3. 小中学校間の接続(中学校英語を学ぶ際に小学校での外国語活動が役立つ) | 70 件 |
| 4. 教員意識の向上(校内研修の活性化など) | 19 件 |
| 5. その他の肯定的な意見 | 20 件 |

☆ 外国語活動の導入について不安や課題があるとする意見 ☆《108 件》

| | |
|---------------------------------------|------|
| 6. 教員の負担増及び力量や経験不足(教員の資質) | 44 件 |
| 7. ALT との対応が不安、人材不足 | 1 件 |
| 8. 授業内容、カリキュラム(教材の選定・確保・活用を含む) | 13 件 |
| 9. 指導体制、指導時間の確保(授業体制・授業時間の確保含む) | 7 件 |
| 10. 評価 | 1 件 |
| 11. 教員研修(研究会などの参加含む) | 9 件 |
| 12. 小中学校間の接続(小中間のギャップの解消など) | 17 件 |
| 13. その他の不安・不満・課題 | 16 件 |

☆ その他 ☆《15 件》

| | |
|----------------------------------|------|
| 14. その他の意見(肯定的でも否定的でもない意見) | 15 件 |
|----------------------------------|------|

～ 本件に関するお問い合わせ先 ～

財団法人日本英語検定協会 英語教育研究センター

担当: 小笠原 t-ogasahara@eiken.or.jp

/ 染谷 y-someya@eiken.or.jp

TEL:03-3266-6706 FAX:03-3266-6704